

9) 令和4年度 研究発表等実績 (植物系)

令和4年度に当財団職員が発表した植物系の学術論文、書籍等、植物研究室職員による学会等での発表実績、および外部機関より受託した事業を紹介する。本年度は12報の論文を発表し、12題の学会等発表(別紙4)、13件の外部研究資金(5件は受託事業)を獲得した(別紙5)。なお、リスト中の当財団職員の名前は太字+下線で示した。

【学術論文】

1. Akiyo NAIKI, Tadaki NAKASONE, Tetsuo OHI-TOMA, **Koji YONEKURA** and **Atsushi ABE**. 2022. Rediscovery of *Exallage auricularia* (Rubiaceae) from Yonaguni Island, Okinawa, Japan, Journal of Japanese Botany 98(3): 134-140
2. Akiyo Naiki, **Masaharu Amano**, **Koji Yonekura**, Kotaro Okoshi, Yukiko Saito, Takenori Yamamoto, Takuto Shitara and **Atsushi Abe**. 2022. A New Locality for *Elatostema lineolatum* Wight var. *majus* Wedd. (Urticaceae) from Iriomote Island, Japan, Acta Phytotax. Geobot., 73 (3): 219-222.
3. **天野正晴**・齊藤由紀子・菊川章・松本芙多葉・矢野興一. 2022. 坂口総一郎によって採集されたトモエバテンツキ (カヤツリグサ科). 莎草研究 (24): 21-26.
4. **天野正晴**・川元南緒・峯弓華・**徳原憲**・**佐藤裕之**・辻田有紀. 2023. 海洋博公園におけるエダウチヤガラ (ラン科) の野外播種試験. 日本植物園協会誌第57号: 38-42.
5. 菊川章・松本芙多葉・**天野正晴**・齊藤由紀子. 2023. 坂口総一郎が収集した沖縄の植物標本. 沖縄県立博物館・美術館紀要 (16): 印刷中.
6. Liyue Zhang, Kento Rammitsu, Akihiko Kinoshita, **Ken Tokuhara**, Tomohisa Yukawa, and Yuki-Ogura-Tsujita. 2022. Symbiotic culture of three closely related *Dendrobium* species reveals a growth bottleneck and differences in mycorrhizal specificity at early developmental stages. Diversity 14 1119 <https://doi.org/10.3390/d14121119>
7. Natsumi Kanzaki, Hisashi Kajimura, Hayato Masuya, Mitsuteru Akiba, Taisuke Ekino, **Satoshi Tsujimoto** and Hajime Kosaka. 2022. Two new insect-associated tylenchids, *Sychnotylenchus hibisci* n. sp. And *Neoditylenchus xiphydriae* n. sp. (Tylenchomorpha: Anguinidae), from Japan. Nematology 24: 257-282.
8. Natsumi Kanzaki, Mitsuteru Akiba, Hayato Masuya and **Satoshi Tsujimoto**. 2022. Description of *Ruehmaphelenchus kuroshioi* n. sp. and *R. interjectus* n. sp. (Tylenchomorpha: Aphelenchoididae) isolated from ambrosia beetles, *Euwallacea* spp. (Scolytinae), from Japan. Nematology 24: 1157-1180.
9. Mayu Shibabayashi, Takuro Ito, Junichi Nagasawa, Toshiaki Shiuchi, Goro Kokubugata, **Atsushi Abe**, Akiyo Naiki, Shota Sakaguchi, Taiga Shimizu, Kazuki Kurita, Yuji Isagi. 2022. The contrary

conservation situations of two local critically endangered species, *Vaccinium emarginatum* (Ericaceae) and *Elatostema platyphyllum* (Urticaceae), growing on the eastern edge of the distribution, *Frontiers in Ecology and Evolution*. <accept 10 January 2023>

10. 大越光太郎・天野正晴・山本武能・内貴章世・齊藤由紀子. 2023. ココヤシ *Cocos nucifera* (ヤシ科) の野生個体を西表島に記録する. 沖縄生物学会誌 (61): 受理済み.
11. 砂川愛子・稲田幸太・端山武・具志堅江梨子・佐藤裕之・阿部篤志・天野正晴. 2023. 海洋博公園熱帯ドリームセンターにおけるパルダリウムを用いた生息域外保全株の展示. 日本植物園協会誌第 57 号: 81-86
12. 辻本悟志・原田匠・亀山統一. 2022. アカギに加害する外来ヨコバイの繁殖特性と薬剤防除に関する調査研究. 樹木医学研究 26(3): 127-128.

令和4年度 学会発表一覧(植物系)

	発表学会等	開催日時	演題	要旨	演者(※:筆頭演者)
1	日本植物園協会第57回大会	2022年5月18日	沖縄県産ホザギザクらの種子発芽に及ぼす気温と光の影響	沖縄県北部に自生する絶滅危惧植物ホザギザクらの生息域内・域外保全に向けた技術構築として、種子発芽特性を報告した。	※佐藤裕之・具志堅江梨子・島袋徳正・阿部篤志
2	日本植物園協会第57回大会	2022年5月18日	海洋博公園に生育する絶滅危惧種コナミキの保全に向けた取り組み	海洋博公園に自生するコナミキについて種子発芽特性(予備)と送粉生態について報告した。	※福川優希・天野正晴・佐藤裕之・大嶺千智・傳田哲朗
3	第59回沖縄生物学会	2022年5月28日	カシノキランの無菌培養での種子発芽	カシノキランの無菌培養での種子発芽条件について報告した。	※徳原憲・佐藤裕之・天野正晴・阿部篤志
4	第1回日本レジャー・レクリエーション研究国際会議	2022年8月21日	Indoor Greening Promotion: Collaboration Among Multiple Organizations in Okinawa	財団本部で試験を行っているオフィスグリーンについて、職員を対象とした活動量調査や維持管理作業で発生する枝葉の有効活用について報告した。	※辻本悟志・横山 誠・堀江久樹・石坂正大・田中健太・渡邊裕一・後藤佳子・西岡ゆかり
5	令和4年度亜熱帯緑化事例発表会	2022年9月16日	アカギヒメヨコバイの繁殖特性と薬剤防除に関する調査研究	沖縄全域で問題となっているアカギを加害する外来ヨコバイについて繁殖特性と薬剤防除に関する報告を行った。	※辻本悟志
6	第39回日本植物園協会国公立植物園運営会議	2022年11月18日	各植物園のSDGsの取り組みについて -沖縄美ら島財団の場合-	財団のSDGsに向けた取り組みとして動植物残渣の堆肥化、児童を対象とした島野菜体験学習および島野菜収穫体験イベントでの堆肥の活用について報告した。	※松原智子
7	第27回樹木医学会	2022年12月4日	デイゴに軟腐症状を引き起こす <i>Fusarium pseudensiforme</i> がいる場所	沖縄県を中心にデイゴで問題となっている軟腐症状について、その病原が健全枝からも分離されたことを報告した。	※升屋勇人・辻本悟志・宮越望・黒田慶子
8	日本植物分類学会第22回大会	2023年3月3日	生態ニッチモデルを用いた沖縄県西表島における絶滅危惧植物の潜在分布域の推定	西表島の絶滅危惧植物の生態ニッチモデルを使った分布推定について発表する。	※設楽拓人・山本武能・阿部篤志・内貴章世
9	日本植物分類学会第22回大会	2023年3月3日	沖縄島産アキカラマツ(キンボウゲ科)の分類群学的再検討	琉球列島で唯一沖縄島北部のやんばるに自生するアキカラマツについて、沖縄島および他地域のアキカラマツ、他のカラマツソウ属植物と形態および生態比較、分子系統解析を行い、未記載種である可能性が示唆されたことを報告する。	※道本佳苗・阿部篤志・横田昌嗣・藤井伸二・高橋大樹・柿嶋聡・游旨价・伊東拓朗・牧雅之
10	日本植物分類学会第22回大会	2023年3月3日	溪流沿い植物の種分化ゲノミクス:沖縄産 <i>Solidago</i> 属での狭葉化・交配前隔離の遺伝的基盤を探る	沖縄本島の溪流型(ヤンバルアオヤギバナ)と陸上型(シマコガネグク)の種分化ゲノミクスに関して解析と全ゲノム比較によって、溪流沿い植物の特徴である葉形と開花期のずれに関する候補遺伝子を特定したということを報告する。	※阪口翔太・石川直子・阿部篤志・瀬戸口浩・永野惇・牧雅之・喜屋武隆太・伊藤元己
11	園芸学会令和5年度春季大会	2023年3月19日	リュウキュウカンヒザクらの種子発芽に対する温度条件の影響	リュウキュウカンヒザクらの保全を目的に種子発芽特性を調査し、亜熱帯性であっても低温要求性を有する事を報告する。	※田中里奈・大原隆明・渡邊幹男・三浦励一・佐藤裕之・神戸敬成
12	第134回日本森林学会大会	2023年3月25日	絶滅危惧種オキナワセッコクの自生地と森林環境	生育地点を整理し、本種の自然分布に求められる環境条件を解析した結果を踏まえ、伐採や盗掘のリスクを抑えつつ適切な林分配置を誘導することにより、野生株の効果的な回復が期待できることを報告する。	※阿部真・安部哲人・阿部篤志・高嶋敦史・宮本麻子・齋藤和彦・小高信彦